

平成22年度 青少年問題協議会（第1回）会議録

日時：平成22年 6月4日（金）午前10時～

場所：市役所502会議室

1. 委員の委嘱について

委嘱・副会長選出について

青少年問題協議会条例第3条第2項の規程により、会長は市長。

青少年問題協議会条例第3条第3項の規程により、副会長は2名。

教育委員長 森田圭子氏 和光市民会議会長 斎藤和康氏（スポーツ青少年課長）

作文審査委員会の選出について（2名）

教育長 大久保昭男氏 育てる会連合会 川曲幸生氏を推薦

青少年問題協議会委員 承認

2. 松本市長（青少年問題協議会会長）挨拶

3. (1) 平成21年度和光市青少年関係機関・団体事業報告について

産業支援課長、スポーツ青少年課長、生涯学習課長、こども福祉課長から事業報告。

委員 食育の事業があるので今後もつなげていってほしい。就職相談をさらに充実を。

青少年問題協議会委員 承認

(2) 平成22年度和光市青少年関係機関・団体事業計画について

産業支援課長、スポーツ青少年課長、生涯学習課長、こども福祉課長から事業計画について説明。

委員 中高生の居場所作りが大切である。クラブ活動をしない子どもの居場所ができればいいと思う。

青少年問題協議会委員 承認

(3) 平成22年度青少年健全育成標語募集（案）について

テーマ「感謝」（ありがとうございますか？親や家族や友だちに・・・）

委員 何事にも「感謝」の気持ちを持ってほしいというところから出ました。

さらにわかりやすくするため、サブテーマの（ありがとうございますか？

親や家族や友だちに・・・）を加えました。

学校の先生の丁寧なご指導により毎年多くの応募があります。今年度も多数の応募を期待しています。

青少年問題協議会委員 承認

(4) その他

和光市青少年育成推進員会から

委員 私達の活動では各学校からの30名あまりの推進員全員であひるのプレートを置かせていただいています「協力店」市内209店舗を回り訪問調査をしております。それぞれの協力店では万引きなどの防犯もさることながら、こどもたちが安心してられるようにご協力いただいています。

毎年、お店にアンケートのご協力をいただき資料を作成していますので、ご利用ください。

またあひるのプレートについてはお店に掲げていただくだけで今まで子どもたちやお母様方には周知されていなかったが、昨年お母様方と手作りのポスターを作り、それぞれ学校にも貼っていただいています。このポスターを貼っていただける方がいましたらご協力ください。

委員 地域全体で青少年を守るんだという意識の啓発になるのでぜひご協力ください。

高等学校から

委員 高校生の現状と課題について報告。

現在の埼玉県の高校の教育の課題

- ①進学の実績を上げる。
- ②中途退学者を少なくする。

高校生の現状について

- ①人間関係を作る能力が低下。

(中途退学の大きな原因の一つではないか。)

- ②平気で人を傷つけるなど人間関係の距離の置き方などの能力が未発達、未成熟。

原因として「ケータイ」。電話はせず、「メール」。

「掲示板」で匿名で自分がムカムカしたこと、他の人を気に入らないことを掲示板に書く。そしてそれを他の人が見たときに非常に傷つく。

→大きな問題

→人間関係からくずされていく。→大きな問題。

- ③家庭の教育力の衰退。小学校低学年のときからの積み重ね。

- ④今、「生きる力」が弱まっている。

- ⑤社会環境の悪化（高校生を商品としている「社会のありよう」の問題）

学校生活の3年間で社会人として立派に生きていけるように育てていきたい。
学校の外からのご意見もいただきたい。

委員 最近は「子どもの抵抗力」のなさを感じる。

また、昔と今の違いは「相手が悪い」という意識が強い。

社会に適応できる子に育てるにはどうすればいいか、自分で考えられる親が少なくなっているのではないか。

親が「社会に適応できる子」を育てる自覚を持った人が増えてほしい。

こども福祉課長

「こども版 地域協議会」の説明

終了

出席者 松本、栗原、須貝、山崎、森田、大久保、木田、小野、柿崎、大谷、富澤（美）
中島、藤村、小結、斎藤、川曲、村山、山田、富澤（甚）、小林、鳥飼、堀内、
畠山、神杉、浦郷 （欠席者 野口、榎本、本橋（良）、中村、本橋（敦）、加山）
事務局 こども福祉課長、産業支援課長、生涯学習課長
スポーツ青少年課長、課長補佐、担当者（結城 萩原）
傍聴者 なし